

# 関節疾患・人工関節センターからのお知らせ

## 赤外線誘導式人工膝関節手術支援ロボット NAVIO（ナビオ） 導入

当院の関節疾患・人工関節センターでは2020年8月より東海地区で2例目となる手術支援ロボットNAVIO（ナビオ）を導入しました。

この手術支援ロボットは、赤外線カメラを使って術中に関節の構造や動きを正確に読み取り、膝の状態を3D映像化します。そのデータを基に周囲の筋肉や靭帯のバランスを評価し、搭載されたAI（人工知能）と術者によって今まで不可能だった3次元的な手術デザインが作成されます。骨を削る際も、削る位置や深さも自動でアシストしてくれます。

加齢で膝関節の軟骨がすり減ったり、骨が変形して膝痛を起こす「変形性膝関節症」。日本で変形性膝関節症の潜在患者数は2,500万人にのぼるといわれています。

治療法は保存療法から外科手術までさまざまありますが、最終的に膝関節を人工関節に置き換える手術（人工膝関節置換術＝TKA）が年間約8万件行われています。

このロボットによって再現された違和感のない膝は、術後のリハビリがスムーズで早期社会復帰が見込まれ、患者様の負担軽減につながることを期待できます。

当センターでは経験豊富で確かな技術を持つ関節専門医が対応いたしますので、関節疾患でお悩みの方は遠慮なくご相談ください。

[関節疾患・人工関節センター](#)

